



映画「四日間の奇蹟」
北浦家族旅行③

日本海を照らす下関 人娘を連れて毎年のよ市の角島灯台のある角 くに角島の海水浴場に島が本州と陸続きにな 行く。
つたのは二〇〇〇年の 角島まで海水浴に行 ことである。以来、山口 くななんと驚くのだが、 市に住む次女夫婦は一 仕事の都合で三年間、



パースの海岸を連想させた海水浴場＝右手に礼拝堂が見える

オーストラリアのパースに住み、広い大地を車で旅することに慣れたのか、角島を遠く感じないらしい。

角島の最先端、角島灯台近くの大浜海水浴場に行く。冬場で全く人影はなく、地平線に伸びる青い海と白い雲はまるでパースの海岸のような感じを受け

る。娘たちのパースの家は海岸の近くで、パースを訪れた際はほとんど毎日、海岸を散歩した。地平線まで続く青い海はインド洋だと知らされ、驚いたことを思い出

す。娘たちがわざわざ角島の海水浴場に行くのは、パースの海岸に似ているからではないかと思いつきながら青い海を見ていると、娘婿が「お父さん、海岸の右側の向こうに小さく教会のよう

な建物があるでしょう。あれが『四日間の奇蹟』のロケがあった礼拝堂です」と言う。

彼は映画を見たそう



原作の小説「四日間の奇蹟」

るが、作品とどう関係しているのかがわからない。

そもそも奇蹟はミステリーなのか。神に向かって何を哀れんで下さう。いと云っているのだから。

旅で出会った一つの出会いが新しい世界を与えてくれたというこ

とでペンを置こう。海岸の礼拝堂は、キャンプ場のトイレを外観だけ礼拝堂にしてロケをしたとか…そして今も礼拝堂の中は公衆

トイレ。知らぬ方が良いこともある。

自分の方がその映画を観てないことが妙に心

にひっかかる。帰宅して調べると、これはラテ

下関出身の佐々部清監督の映画だとわかる。トリックの

以前、佐々部監督の「半落ち」を見たことがあ

る。山口県出身の監督が山口県でロケした映画



「四日間の奇蹟」に使われた礼拝堂

とレンタルショップで「四日間の奇蹟」のDVDを借りる。いと唱え